

## 【プログラム】

時間	内容		
9:30～	入室受付	9:50～10:00	開会 オリエンテーション
10:00～11:30	【午前の部】 <b>感染症から考える ～with コロナとどう向き合うか～</b> 講師：金田 将裕 さん(京都市立西京高校 教諭)		
<p>コロナウイルスの影響で世界や身の周りの生活が大きく変化し、「with コロナ」という言葉が広がっています。そこで、講師が考えた化学実験や開発教育協会（DEAR）のワークシートなどを用い、ディスカッションを通して「with コロナとどう向き合うか」を考えます。感染症の広がりを体験する化学実験の作成経緯や展開例なども紹介します。</p>			
<p><b>【講師プロフィール】</b> 京都市立西京高等学校、理科（化学）教諭。2016年にJICA 教師海外研修（ネパール）に参加。この年から、各国で活動中の青年海外協力隊の友人を訪れ始め、この経験をもとに授業の中で国際理解について触れるようになる。また、JICA 関西の教師海外研修 08 会で開発教育の勉強会に参加しながら、自らワークショップを実践するようになる。2020年から青年海外協力隊として派遣予定だったが、現在延期となっている。</p>			
			
13:00～	入室受付	13:20～13:30	オリエンテーション
13:30～15:30	【午後の部】 <b>コロナ禍でさらに追い詰められる子どもたち ～ 子どもの権利をテコにして考える</b> 講師：甲斐田 万智子 さん (認定 NPO 法人 国際子ども権利センター(シーライツ) 代表理事)		
<p>世界の様々な困難を抱える子どもたちを支援されてきた講師から、コロナ禍の途上国や日本国内のマイノリティの子どもたちの様子などについてお話を伺った後、「これまで子どもの権利をテコに考えたり、行動を起こしたことはあるか」についてグループでのディスカッションを行います。</p>			
<p><b>【講師プロフィール】</b> 認定 NPO 法人国際子ども権利センター(シーライツ) 代表理事。 日本ユニセフ協会勤務後、ブータン、インドに滞在しストリートチルドレンや貧困少女たちにかかわる。1996年にシーライツに入職。国内外で子どもの権利普及活動に携わる。2004年からカンボジアで児童労働・人身売買防止事業に従事し、2010年に帰国。2012年から文京学院大学教員。編著『世界中の子どもの権利をまもる 30 の方法』（合同出版）共著『SDGs と開発教育：持続可能な開発目標のための学び』（学文社）など。</p>			
			
15:30～16:00	アンケート記入、閉会		

## 【申込方法】

右の URL にアクセスしてお申込みください。 <https://forms.gle/qseDZijMLzZanCYi9>

メールでの申込みは、「国際教育ワークショップ参加」の件名で、下記の 1.～5.の項目を明記して omori@s-i-a.or.jp へてに送信してください。

1. お名前
2. E-mail アドレス
3. 電話番号
4. 所属先
5. 参加希望の内容 (A・B) ※複数選択可  
[A. 午前の部 B. 午後の部]

### 〈オンライン参加に必要なもの〉

- ・ Zoom がインストールされた、カメラとマイクの付いたパソコン、または、タブレット  
※画面共有や資料配布、グループディスカッションなどを想定しているため、パソコンでの参加をお勧めします。
- ・ 十分な通信速度のネット環境

\* 申込の際の個人情報は、セミナーに関連する手続きのみに使用いたします。